東大阪
発行所
株式会社 東大阪新聞社
第7004号
〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル２F
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603
八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893
東大阪・八尾柏原の地域紙
購読ご希望の方はお気軽にお電話下さい

フエキSHOPパルコ新・心斎橋店に

パルコ新・心斎橋店（大阪市中央区心斎橋１）が11月20日にオープンした。大丸心斎橋店北館を丸ごとリノベーション。モノ、コト、アート・カルチャー、テクノロジーという４つのテーマのコラボレーションが生み出す新感覚の百貨店。

入り口でお客を迎える巨大なフエキくん

目玉は9階にあるフエキくんに入ったソフトクリームが人気だ。不易糊工業株式会社（梶田安彦社長、八尾市竹渕東2−62）の人気キャラクターグッズ満載のショップ。入り口には、巨大なフエキくんがいる。これを見るだけでテンションはマックス！

中に入ると、フエキくんに入った糊だけでなく、ボールペンやクリアファイル、トートバッグなどが所狭しと置かれている。フエキくんに入ったパインアメまである。

驚くのはまだ早い。フエキくんには人を元気にする力がある。

フエキSHOPにはカップル、家族連れが次々入ってくる。どの人も、フエキくんグッズを見ているうちに笑顔になっていく。フエキくんには人を元気にする力がある。

合計84点が展示室にセッティングされ壮観な雰囲気だった。

会員が、生駒山西麓の歴史・風景・行事を様々なアングルで写し撮っている。令和2年の「枚岡神社平成令和の大造営」にちなんで「神社コーナー」を設けていた。

枚岡神社御用達カメラマン秋田茂徳さん（68）の力作7点が人気を呼んでいた。

第17回 枚岡自然と文化写真展

左から井上満さん、湊守雄さん、秋田茂徳さん

生駒山西麓を写し撮る力作揃い

秋晴れのなか11月17日～23日の1週間、東大阪市民美術センター（東大阪市吉田6）で第17回枚岡自然と文化写真展が開催された。

主催は枚岡自然と文化愛好会。会長の湊守雄さん（84）に話を聞いた。愛好会は設立して17年の歴史を有する。

現在会員は15人、今回写真展には12人の会員が出展している。12人の会員それぞれが7点の作品を出展、

12月23日 お笑い神事 開催

参加者を800人に限定して

中東弘宮司（中央）と巫女さん

中東弘宮司（79）が10時より「お笑い神事」を催行。オンライン生配信で、中東宮司がお笑い神事や枚岡神社の歴史・由緒などを配信する。また、お笑い神事で行う感謝と祈りの笑い「あっはっはっ」の動画を多くの人から受け付け、オンライン配信する。

当日は「笑福守」のお札と「お笑い絵柄入りマスク」がセットで、参賀者に販売される（千円）。

お笑い神事を無事に催行し、清々しい心持ちで令和3年を迎えることを祈念したい。

神社内で様々な意見が交わされたが、結論として最大・細心の配慮を施し、お笑い神事への参加者を800人に限定して実施することに決まった。

12月23日午前枚岡神社に着任してから10年の歳月が過ぎた。従前のお笑い神事は、宮司を始めとした神職と氏子総代だけで執り行われるのが常だった。

中東宮司の発案で一般参賀者もお笑い神事に参加することになり、年年歳歳、参加者は増え続けて2019年には4千人近くの人びとが広場を埋め尽くした。

コロナ禍のなか、枚岡神社も細心の注意を払いながら各種行事・神事を催行している。大阪マラソンや岸和田だんじり、枚岡の秋祭り等が軒並み中止の状況であり、お笑い神事を実施するか否かの決断を迫られた。

神社内で様々な意見

しかし、集合住宅と携帯電話の負の側面を是正することなく突き進んできた過去を振り返り、問題を解消していく努力は必要だろう。昭和の時代が懐かしいとは言うまい。だが、令和の御世をより良き時代に仕立て直す覚悟と決意は不可欠である。

経済社会問題を技術で克服しようとする昨今に違和感を覚える。人は感情の動物と言う。ならば心で問題を解決する工夫が必要ではないか。

最近、心が忘れられ、もはや元には戻せないような気がしてならない。

風を読む24

2020年 世界の動き

大阪商業大学総合経営学部教授
経済学博士 中津孝司

集合住宅と携帯電話が原因

東大阪市立荒川小学校から俊徳中学校へと駒を進めた昭和の御世。貧しかったが、社会は躍動していた。食べ物を粗末にすることはなく、食品廃棄は話題にすらならなかった。衣服も修理して使い回した。狭い居住空間に3世代が身を寄せ、助け合って暮らした。

近隣住民同士の意思疎通も活発だった。どこに誰が住んでいるかは皆が持っていた。市場で野菜や鮮魚を購入すると、売り手が新聞紙に包んで買い物籠に入れてくれた。無駄はまったくなかった。燃えるゴミは各家庭で燃やし、燃えない物は工夫して再利用した。まったく無駄がなかった。団地なる集合住宅が新規登場した。そこには主として新婚世帯が入居した。土地付き住宅街は矢継ぎ早に広まってしまっていく。一方で、石油危機を乗り越えた代以降については周知のとおりである。

しかし、集合住宅の増加とともに社会に歪みが生じてくる。使い捨てや携帯電話などはアニメやテレビドラマの世界限定だった。それでも1年の使い捨てと揶揄される始末だった。

平成へと時代が変遷し、バブル経済が崩壊する社会問題の根源的な原因は集合住宅と携帯電話の爆発的な普及にある。昭和の時代、このような問題はほとんどなかった。核家族化と携帯電話が普及さえしなければ、防ぐことが可能な問題ばかりだが、もはや元には戻せない。

近隣住民同士の意思疎通も活発だった。どこに誰が住んでいるかを互いに知り尽くしていた。

主婦は声を掛け合って、買い物に出かけ、情報交換した。エコバッグなる洒落た言葉はなかったが、買い物籠は工夫して再利用した。

大阪万博の頃だろうか、団地なる集合住宅が新規登場した。そこには主として新婚世帯が入居した。土地付き住宅街は矢継ぎ早に広まってしまっていく。一方で、石油危機を乗り越えた代以降については周知のとおりである。

しかし、集合住宅の増加とともに社会に歪みが生じてくる。使い捨てや携帯電話などはアニメやテレビドラマの世界限定だった。それでも1年の使い捨てと揶揄される始末だった。

平成へと時代が変遷し、バブル経済が崩壊する社会問題の根源的な原因は集合住宅と携帯電話の爆発的な普及にある。昭和の時代、このような問題はほとんどなかった。核家族化と携帯電話が普及さえしなければ、防ぐことが可能な問題ばかりだが、もはや元には戻せない。

経済社会問題を技術で克服しようとする昨今に違和感を覚える。人は感情の動物と言う。ならば心で問題を解決する工夫が必要ではないか。

最近、心が忘れられ、もはや元には戻せないような気がしてならない。

晴耕雨読

大いなる組み直しの兆し

はるかなる宇宙からの「はやぶさ2」。小惑星リュウグウ産のダイアモンドというべき岩石の破片などが密封された「玉手箱」が回収された（12月6日）。そして6年飛んできた「はやぶさ2」は、そのまま次のミッションである直径30メートルほどの小惑星に向かっている。11年、100億キロの旅である。

世界初の偉業をなしとげているJAXA（宇宙航空研究開発機構）の歴史的快挙は、頑丈で正確に制御されているハードとソフトの高いレベルによるものだ。特に、日本の町工場が持つ高い超高精細技術力と関係者の強い思いが成功の要因だろう。

国際宇宙ステーションで野口宇宙飛行士は「はやぶさ2」を見ただろうか。次は「玉手箱」を開けて、地球の生命の起源に迫る。

12月9日、小学4年と中学2年を対象にした国際数学・理科教育動向調査（TIMSS＝ティムズ）の2019年の結果が報じられていた。平均点は前回15年並みの水準で全教科で5位以内だが、シンガポールは全科目で今回も首位だ。近隣国に負けている。

このような高いミッションを持った「はやぶさ2」を深夜のNHK中継で視聴した子どもたちも多かっただろう。子どもたちの感激のシーンは感動を呼び、次への羽ばたきの原動力になるに違いない。

令和2年を「禍」「忍」「耐」で表す人も多いが、私としては「兆し」だ。

菅首相は2050年までに「脱炭素社会」、2030年には水素を主要燃料にする方針を打ち出した。デジタルとグリーンの成長戦略の双発エンジンが始動し、ようやく大きな変化の「兆し」が見えてきた。

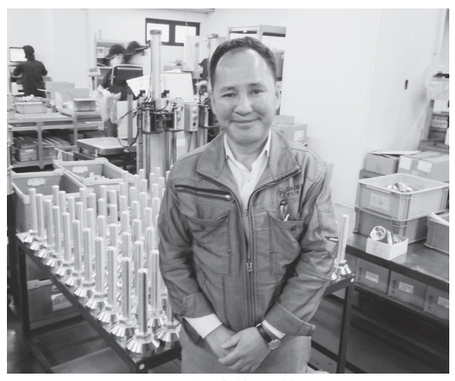
来年のダボス会議のテーマは「グレート・リセット」だ。大きな組み直しと訳してみた。

2020・12・15

町工場を訪ねて28

自動販売機・コピー機を下支えする強い味方

ダイワアドテック株式会社


温厚な熊代琢社長

全国各地に設置されている自動販売機はその数5百万台を超える。コピー機に至っては多すぎて数えようもないほどだ。これらの装置を設置する場合、屋外のコンクリート面や事務所の床面に直接ベタ置きするわけではない。

自販機・コピー機の底面に取り付けたボルトを調整して、設置面との距離（ボルトの長さ）を調節、装置のガタつきがないようにバランスを取る必要がある。

このアジャスター（調整）ボルトをダイワアドテック株式会社が昭和60年に開発。大ヒット商品となり、以来業界トップの座を守っている。

アジャスターボルトの主な納入先は、自動販売機メーカー、コピー機メーカー、各種事務機メーカー、ユニットバスメーカー、コンベアメーカー、ゲームセンター等々対象範囲が広い。ユニットバスとコンクリート基礎面との調整にもアジャスターボルトが使われていたとは正に目から鱗が落ちる思いだった。

創業者の熊代輝夫さんは34歳までボルト・ナット屋に勤めていた。その経験を活かして、昭和40年8月に大阪市港区弁天4丁目でボルト・ナット販売店「大和螺子」を創業。昭和60年4月に港区弁天6丁目に移転、現在の主力商品・アジャスターの製造・販売をスタートする。

取引先のコンベアメーカーから、アジャスターボルトを依頼されて製造するようになったのが大きなキッカケだった。

現社長の熊代琢さん（55）は高槻市出身。高槻北高等学校普通科で学んだ。卒業後、八尾の飯田商店で6年間勤務。

2017年に社名を現在の「ダイワアドテック株式会社」に変更しており、熊代琢さんは同年に代表取締役社長に就任している。

熊代社長にモットーを聞いた。

「生き残るには強いだけでなく、変化に対応できることが大事だ」

若い人へのメッセージは「失敗を恐れずに挑戦して欲しい」。

社長の夢・計画を聞くと、「環境に対して模範的な企業にしたい。社員全員が高給取りになれるようにしたい」

素晴らしいスピリットを持っている経営者だ。

（小川秀人）

独自開発した「うんばんまん」

ダイワアドテック株式会社
社長　熊代　琢
豊中市二葉町2−6−40
TEL 06−6334−1791

えぇっ!?
環境活動して会社の業績UP??
ほんまかいな〜
……もっちょい詳しく　TEL：072-991-8878
O-KES
特定非営利活動法人 グラウンドワーク八尾 大阪KES環境機構（O-KES）
詳しくはこちら→　http://www.gw-yao.com

第1・第3土曜日 19:30 〜 20:00 放送
（再放送 第2・第4木曜日）
環境問題をテーマにした番組
おんちゃん、あきちゃんのエコラブオントーク
出演：温川政佳、Ono Aki［提供：大阪KES環境機構］
FMちゃお（FM79.2MHz）

ウエス販売
≪商品紹介≫
〜色メリヤスウエス〜（1ｋｇ￥350）
〜混合ウエス〜（1Ｋｇ￥200）
〜タオルウエス〜（1ｋｇ￥400）
〜白メリヤスウエス〜（1Ｋｇ￥500）
☆不用になった中古衣料やタオルから、ウエスに適した原料だけを選別加工し商品として仕上げました。障がいを持つ利用者が手作業で丁寧に裁断し、梱包をしています。地球に優しく、皆様に愛される商品を目指しています。
社会福祉法人ヤンググリーン
障害ワークセンター will
〒577−0023 東大阪市荒本1−4−32
TEL：06−6789−6171
FAX：06−6789−6172

お湯のいらない足湯　ゆっ太郎
持ち運びができて収納もコンパクト
株式会社 藤原電子工業
http://www.fdk-ltd.jp/
〒581-0042 八尾市南木の本二−一五
TEL（〇七二）九九一−三九二七
FAX（〇七二）九九一−三九九六
fujiwara-denshi@nyc.odn.ne.jp

明るい・楽しい・アットホームな教習所
運転免許取るならYAOKYOで！
八尾自動車教習所
八尾市高安町南七丁目二十一番地
☎（072）999−1234
HP：http://www.yaokyo.net/

募集
電気主任技術者　電験3種取得者
高圧電気設備の保守点検は
大阪電気保安協同組合
八尾市太田3丁目217−11
TEL 072−949−3125

カット野菜スタッフ募集　誰でもできる簡単な作業
GF株式会社 平野工場
大阪市平野区長吉六反1−7−20
TEL 06−6707−8868

四国88カ所霊場のお砂さすり場・踏み場
手では88カ所の霊場のお砂をさすっていただき、周囲を歩くことによって下に敷きつめてある88カ所のお砂を踏んでいただきます。
三野郷山 三寶興誠院
八尾市福万寺町南6−2−3
TEL 072−922−3933
MOB 090−1020−2682

社会的養護を家庭で！
社会的養護とは、事情があって親元で暮らせないか暮らすことがふさわしくない子どもを社会が代わって養育することです。
特別養子縁組里親：パパとママが欲しいな…。
養育里親：一緒に暮らしてくれる家族、できるかなぁ。
季節・週末里親：時々、お泊りさせてね。
45,000人の子どもが家庭を必要としています
里親制度とは
様々な理由で親と暮らせない子どもたちを、家庭環境の下で養育することです。
日本では里親がまだまだ足りていません。
養子縁組してくれる里親さんを待ってます。
一定期間、子どもと暮らします。
施設による家庭生活体験事業です。（各地域により差があります）
NPO法人日本こども支援協会（TEL 06-6767-1130）

牛滝温泉
四季まつり
（旧いよやかの郷）
自然の中に浮かぶ天空の露天風呂
新温泉開業
屋根付きテラスでBBQ・宴会ができます
7月4日グランドオープン
ナトリウム−塩化物・炭酸水素泉、ラドン温泉
☎ 072−479−2641
大阪府岸和田市大沢町1156
宿泊もできます

注目の歴史小説

明治維新の陰に光当てる

陽眠る

上田秀人 著

角川春樹事務所　定価1、870円（税込み）

霧山文三郎（作家・古代史研究家）

「二百六十四年続いた徳川幕府は、十五代将軍慶喜の大政奉還をもって幕を下ろされた」

「二百六十四年」という表記にも、作者の歴史事実を扱う緻密さを知る。将軍職を朝廷に返上したものの、鳥羽伏見で錦旗を掲げる薩長軍に敗れて徳川慶喜は大坂城に退却した。大坂城を海上から守るため、オランダで造船されたばかりの軍艦開陽丸が、他の幕府軍船と共に大坂湾で待機していた。開陽丸の船体は木造ながら最新の一軸スクリュー推進を備え、排水量２５９０トン、全長72・8メートル、4百馬力の蒸気機関、最大速力は10海里、大砲26門を備えた東洋最強をうたう軍艦である。

大坂城で幕臣たちには檄を飛ばしながら、彼らを置き去りにし最中。会津藩滅亡の後は、幕臣たちが棲める新天地を求め、箱館（函館）へと更に航海を進める。彼らは蝦夷地に世した榎本に比べ、澤は栄達を望まず、海軍兵学校で後進の育成に尽力した。「儂の夢は、北の海で寝ている」と言った澤の言葉が味わい深い。明治維新の陰の部分に光を当てたドラマである。

海に沈んでしまった。

榎本、土方らは蝦夷島政府をつくったが、米、英、仏から政府として認められない。財政も困窮し、行き詰まったところに新政府の攻撃を受け、土方は戦死、榎本武揚や澤は投獄された。

その後、榎本と澤は赦免された。順当に出

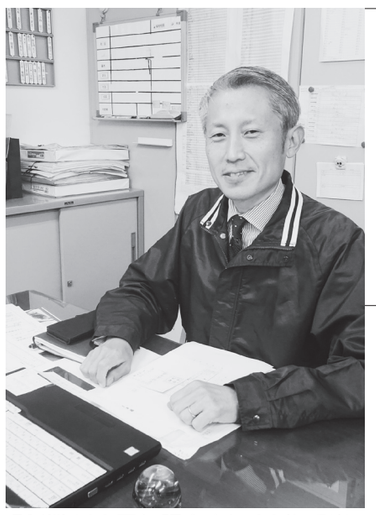
江戸へ最後の将軍を運ぶ大役を受けるところから、職を解かれた幕臣たちの生活の糧を求めての反逆の幕府軍艦としての航海の日々が始まった。

新政府には従えぬ、幕府海軍の要職にあった榎本武揚や澤太郎左衛門、新撰組残党の土方歳三らを乗せて、江戸を出航した開陽丸を待っていたのは台風だった。満身創痍で仙台に到着したときは、新政府と奥羽越列藩同盟との戊辰戦争の真っ只中。会津藩滅亡の後は、幕臣たちが棲める新天地を求め、箱館（函館）へと更に航海を進める。彼らは蝦夷地に世した榎本に比べ、澤は栄達を望まず、海軍兵学校で後進の育成に尽力した。「儂の夢は、北の海で寝ている」と言った澤の言葉が味わい深い。明治維新の陰の部分に光を当てたドラマである。

ら政府軍に砲撃を続けるが、思わぬ強風に流され、座礁して江差の

【著者紹介】上田秀人（うえだ・ひでと）1959年、大阪府生まれ。大阪歯科大学卒。97年、小説クラブ新人賞佳作に入選しデビュー。歴史知識に裏打ちされた骨太の作風で注目を集める。2010年、「孤闘　立花宗茂」で中山義秀文学賞受賞。「百万石の留守居役」「禁裏付雅帳」「聡四郎巡検譚」「高家表裏譚」「日雇い浪人生活録」「辻番奮闘記」「勘定侍　柳生真剣勝負」など、多くの文庫書き下ろしシリーズがある。単行本の近著に「本懐に非ず」など。

誰もが暮らしやすい社会に



「創業100周年記念会に96歳で出席します」と話す菊池哲也社長

株式会社日本衛生公社
社長　**菊池哲也**さん

洒脱な紳士。菊池哲也さん（50）の第一印象だ。株式会社日本衛生公社（大阪市中央区玉造2―3―17―4F、☎06―6945―5866）の社長である菊池さんはスマートにスーツを着こなす。お洒落な立ち居振る舞いは一朝一夕では身に付かない。休みの日には着物姿で茶道を楽しむ。

父親が1976年に起こした会社を継いで、31歳で2代目社長に就任。事業内容は清掃管理、ハウスクリーニング、給排水設備管理、害虫害獣防除、ドバト防除、病原菌消毒。今年は新型コロナウイルス感染の影響で大忙しの1年となった。

同社に入るまでは学生時代から夢に描いていたホテルマンとして活躍していた。ワインエキスパートの資格を取り、本格的にホテルマンの道を突き進んでいた矢先、父親が胃がんを宣告された。父親に請われ、22歳のときに渋々入社した。

JCや倫理法人会で学ぶうち、仕事に対する意識が高まり、社内の改革に踏み出した。初めは反発する社員もいたが、年数を重ねて地道な努力を続け、今では立派な倫理経営企業へと成長した。

菊池社長にはもう1つの顔がある。漁火会会長や政経倶楽部大阪支部長、関西防衛を支える会研修部長などを務め、日本をより良い国にするための活動を続けている。

誰もが暮らしやすい社会にするため、公私共に一生懸命だ。静かな笑顔の奥には情熱の炎が常にある。

笑える税金教室　12

税理士　上西　知

今年の年末調整もややこしいぞ

どこまで税金はややこしくなるのだろうか。国民が理解できない税制って本当に良いのだろうか。

今年は基礎控除がまず変わり、それに伴って給与所得控除が変わる。と言っても意味が分かりませんね。世間でいう「扶養家族の給料は百万円までにしておかないと！」というのは、昔々基礎控除が35万円で給与所得控除が最低でも65万円の時代で、扶養家族にできる家族の所得は35万円以下だったと思う。その場合なら、給料百万円から給与所得控除65万円を引くと35万円となり、扶養家族だった。しかし、その後基礎控除が38万円になったのと同時に扶養家族の要件が所得で38万円以下になった気がする。今度は基礎控除を48万円にするけれど、給与所得控除の最低額を55万円に変更したのだ。結果的には今と一緒だ。しかし所得が2、400万円を超えると段階的に基礎控除が減っていくことになる。

また以前からある「寡婦（夫）控除」が「ひとり親控除」に改正されている。未婚の親を含んだのである。

また、事実上婚姻関係にある人は寡婦とはされなくなった。これは婚姻していなくても住民票に「未届けの妻・夫」とすることで年金がもらえる様になったことが影響しているのだろう。

ひとり親に該当すると35万円の所得控除となるが、要件は所得が48万円以下の子どもがいることと、本人の所得が5百万円以下であることなので、前の「特別の寡婦」と同様だ。以前に27万円の寡婦控除を受けることができた離婚している人は、本人の所得が5百万円以下の要件が追加されている。逆に寡夫控除を受けていた人は27万円の控除だったものが「ひとり親控除」となることによって35万円の控除に増えることになる。ややこしいなぁ。

コロナ禍で話題の本

（編集委員）石河亮平

パンデミックで前向きに捉え直す機会に

コロナ後の世界

大野和基 編

文春新書　定価880円（税込み）

世界的知識人に緊急インタビュー

新型コロナウイルスが中国・武漢市で発見されてから1年。現在、世界全体の感染者は約6、300万人、死者は146万人（11月30日現在、米ジョンズ・ホプキンズ大）。感染拡大が続く。国内では第3波のなか「感染爆発目前」「医療崩壊寸前」と報じられ緊迫度が高まっている。朗報は開発されたワクチンの接種が英国や米国で近々始まることだ。

ウイルスとの闘いは人類と自然との闘いでもある。

日本の人口減少や超高齢社会、AI（人工知能）、電源構成、脱炭素などの問題山積のなかで、ポジティブに生き抜くための力強いメッセージを賢者から得ることができる。ごく一部だが紹介する。

【ジャレド・ダイアモンド（82）】カリフォルニア大学（UCLA）と人類」（日本経済新聞出版社）。各国のリーダーたちの資質がコロナ対応で如実に表れたと、トランプ大統領の酷さと加州知事を対比する。日本は「社会的規範に反してまで行動する人は少ない」と好意的だが、グレタ・トゥーンベリや香港のデモから若者についても「日本でも同じ。次の世代のためにできることは投票に行くこと」（65）と警鐘を鳴らす。

【リンダ・グラットン（67）】ロンドン・ビジネススクール教授。人材論・組織論の権威。ドと説く。

【マックス・テグマーク（53）】マサチューセッツ工科大学（MIT）理論物理学（宇宙論）、AIの研究者。AIと人間の共存を説いた「LIFE3・0」（紀伊国屋書店）は全米ベストセラー。「今回得た教訓は、自らの文明をもっとレジリエント（強靭で柔軟）なものにすることだ」。AI」に「超えてはならない一線を明確にルール化すること」だと警鐘を鳴らす。

【ポール・クルーグマン（67）】ニューヨーク大学スターン経営大学院教授。「the

「人生百年時代」の提唱者。「ワーク・シフト」（東洋経済新報社）は世界的ベストセラー。「社会を良い方向に向かわせる」いい機会だ。在宅勤務の採用や「デジタル・スキルの加速的向上」から「新しい生活規範」が確立され、現状を冷静に判断しまた人工的な昏睡状態」から「巣ごもり」読書でじっくりと読みたい貴重な一冊。

〈編者について〉

大野和基氏は1955年、兵庫県生まれ。東京外国語大学英米学科卒業。1979年から18年間渡米。コーネル大学で化学、ニューヨーク医科大学で基礎医学を学ぶ。その後、ジャーナリストとして活動。編著書に「未来を読む」「未完の資本主義」（ともにPHP新書）など。

聞き書きボランティア養成講座

広域

作家の小田豊二さんを講師に迎え

NPO法人認知症予防サポートネット

聞き書きボランティア養成講座が11月11日に西宮市民会館（西宮市六湛寺町10）で開かれた。主催はNPO法人認知症予防サポートネット（福田章理事長）。

講師を務めた作家の小田豊二さん（75）＝写真＝は、聞き書きの第一人者。インタービューした人は150人を超える。20年前から聞き書き活動を始め、今では日本聞き書き学校講師として全国を飛び回る。聞き書きは、認知症予防になると注目を集めている。

この日、前半は基礎編として「聞き書きとは何か？」を小田さんが自分の体験を交えながら述べた。語り手の話をしっかり聞き、話し言葉で書き、製本して1冊の本に仕上げ、語り手に渡すのが聞き書きの基本だ。

聞き方のコツから原稿のまとめ方まで具体的に分かりやすく説明する小田さん。参加者はメモを取りながら熱心に聞いていた。

後半は実践編。小田さんが聞き手となり、実際の語り手から話を聞き、どのようにしてまとめるのかを説明した。

梅棹忠夫生誕100年記念出版

梅棹忠夫の日本人の宗教

梅棹忠夫著・中牧弘允編著　淡交社　定価2、420円（税込み）

民俗学者・比較文明学者の梅棹忠夫氏が淡交社から依頼された「日本人の宗教」は未完となった。1970年の大阪万博を控え、また、大学紛争の渦中にあり、本書は凍結された。編著者・中牧弘允は淡交社から書けなかった書物の資料の確認を頼まれて、保管されている原稿や模造紙などの中から、あれこれ構想をねった350枚のこざねを発見。こざねに推理と解釈の息を吹き込んで、梅棹忠夫生誕100年を機に解凍されたのが本書であ

〈梅棹忠夫の構想メモ「こざね」〉

（注）B8判（6・4センチ×9・1センチ）「知的生産の技術」（岩波新書）202頁

では第1章を中心に紹介したい。

さて、幻の「こざね」のことである。本書によると「B8判の紙片で、それをホッチキスでつなぎ合わせると、いかにも鎧の小札（こざね）を連想させることから」梅棹自身が名付けたとある。

こざねについて、自らが述べた。語り手の話をしっかり聞き、話し言葉で書き、製本して1冊の本に仕上げ、語り手に渡すのが聞き書きの基本だ。

聞き方のコツから原稿のまとめ方まで具体的に分かりやすく説明する小田さん。参加者はメモを取りながら熱心に聞いていた。

後半は実践編。小田さんが聞き手となり、実際の語り手から話を聞き、どのようにしてまとめるのかを説明した。

本書に戻って、面白そうなこざねを選んでみた。左側に「僧の生活」「女犯」「破戒僧」「戒」のこざねが並び、右側に「尼」「僧侶」「律宗」が並ぶ。じっと睨んで想像してみよう。

著者はこの7枚のこざねの配置に注目し、意味するところや関係性を追跡する。この7枚が何を物語るのかと。

著者は「僧（院）の生活の表と裏である」と考える。そして、梅棹の脳細胞に踏み込んで「ここでは仏教におけるジェンダーとセックスが論じられるはずであった」と読み解き仮説を立て、さらにマーケティングの領域に入り「これは誰もが梅棹の見解を一度は聞いてみたい（読んでみたい）テーマとなったにちがいない」と編集者の発想をする。読み手なりにこざねを付け加えるのも楽しみだ。

頭の中の整理法であり、論理的に文章を作成する方法でもあるが、知的生産のための手法である。恐竜の化石の一片一片を並べつなぎ合わせて、立体的に実物大の骨格見本をつくり上げていくと、ほぼ全容が復元できる。梅棹の考えの断片を手繰り寄せ蘇らせ、幻の書を再現した貴重な産物が本書である。

ドクター、寄り道世界一周㉞

1ドル360円時代

久志本　東

イタリア編

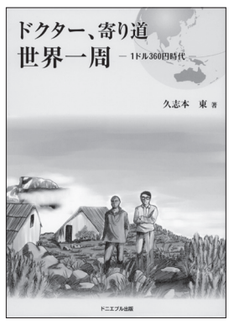
ユーレルパスでヨーロッパをひと巡り

イラスト　久志本雅子

ティトゥス（在位七九～八一年）とセプティミウス・セウェルス（在位一九三～二一一年）の凱旋門の保存状態は比較的良好でした。ティトゥスの凱旋門は第一次ユダヤ戦争の勝利を祝して建てられたものです。セプティミウス・セウェルスの凱旋門は第六次パルティア戦争で、敵の首都クテシフォンを陥落させたことを祝したものです。この頃、流石のしぶといパルティアも勢いが衰えていた頃でしたが、この征服でメソポタミアの北部をローマの領土にくわえることができたのでした。彼は狐の狡猾さと獅子の勇猛さを兼ね備えた皇帝とされ、後世の評価は好悪さまざまで、最後はブリタニア遠征中にハドリアヌスの長城を越えスコットランド（カレドニア）に侵入したところで病に倒れ、ヨークで死亡しました。息子のカラカラとゲタに「お互い仲良く暮らせ。兵を富ませよ。そしてその他のことは無視しろ」という言葉を残したといわれています。しかし二人は争い、カラカラはゲタを殺し、結局カラカラ自身もパルティア遠征途上で暗殺されてしまいます。

その他、アグリッパ（前六三～前一二年）が創建し、その百五十年後に皇帝ハドリアヌス（在位一一七～一三八年）が再建した古代ローマのものがそのまま残ったといわれるパンテオン、二十五万人を収容できたというベン・ハーで有名な戦車競技用のチルコ・マッシーモ（大競技場）跡、ローマ市の北の玄関口ポポロ広場に立つオベリスク（初代皇帝アウグストゥスの命によりエジプトのヘリオポリスから運ばれた）、三万人を収容できたというドミティアヌス（在位八一～九六年）の競技場の上に作られたナヴォナ広場、ムッソリーニが、ベネチア広場とコロッセオに挟まれた広場の上に、ファシスト・イタリアの威信をかけて作った直線の大通り、異様に目立つイタリア統一達成時に在位していたサルディニア王ヴィットーリオ・エマニュエル二世記念堂、ご存じ観光客でごった返すトレビの泉やスペイン広場など、こうして並べて行くだけで疲れてきます。

この中でベネチア広場に面するヴィットーリオ・エマニュエル二世記念堂を訪れた時、面白い経験をしました。記念堂の広い階段には観光客がたむろしていましたが、その中をアメリカ人と思われるスラリとした女性が登っていました。イタリア水兵（これもかっこいい）が二人、その女性のあとを追って行って声をかけていました。またやっているなと思って見ていると、その内の一人がほとんど彼女に触れんばかりに近づき、英語のような言葉で話しかけた途端、滑ってすってんころりんと転げ落ちました。大理石の階段です。さぞ痛かったことでしょう。他の観光客と一緒にかわいそうにと思って見ていましたが、その水兵はすぐ立ち上がり、先に行ってしまった女性を追いかけさらに声をかけていました。大勢の観衆の前でひっくり返ってもあきらめずに突き進むイタリア男性を見て、男はこうでなくてはいけないのかもと思った次第です。一部始終を見ていた観光客（ほとんどが白人）も唖然としながら、さすがはイタリア男児と感心したのか、笑いながら注目していました。



久志本　東著

ドクター、寄り道世界一周

1ドル360円時代

ドニエプル出版

大学を卒業しインターン、そして一般外科研修の後ザンビア共和国の診療所へ赴任。１ドル360円の超円安の中、持ち出し限度額の２万円を持って日本を飛び立つ。その後、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカを放浪して大阪万博に沸く日本に帰国。70歳を記念して寄った先々でのエピソードを綴り、上梓。イラストは久志本雅子。

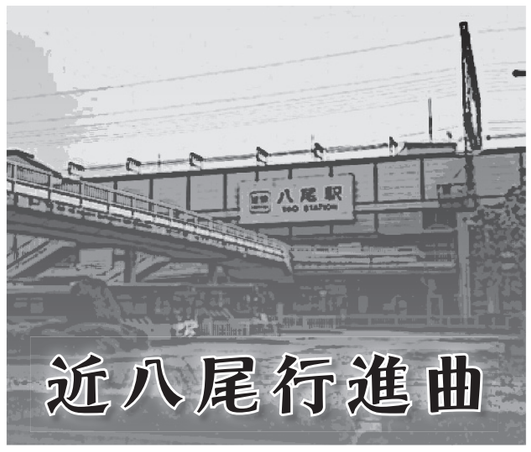
A５判188頁並製本、定価：本体1,650円（税込み）

ドクターがつまみ食いしたユーラシアの古代史㊤
ドクターがつまみ食いしたユーラシアの古代史㊥
ドクターがつまみ食いしたユーラシアの古代史㊦
各A５判並製本、定価：本体1,650円（税込み）
㊦のみ定価：1,870円（税込み）

連載小説㉖

嶋津 亮太

（八尾市在住の小説家）



「あんた、おでこのところ腫れてきたやないの。大丈夫？」
「おぉん」
私の言葉にミツルはいつも面倒臭そうに答える。
「ほんまか？　ちょっと、見せてみ。お母さんに見せてみ」
「大丈夫やって」
私の手が額に触れるとミツルは飛び跳ねるようにして痛がった。
「ちょっと…お前、何してんねん！」
「何がやの？　やっぱり大丈夫じゃないんやんか。痛いんやろ？」
「お前が触るからやんけ！」
「何がやの。誰に〝お前〟って言ってんの、あんた。先生呼ぼうか？」
「いらん！」
「痛いんやろ？」
「お前が触ったからやんけ！」
久々のミツルの声。こんな形で再会したくはなかったけれど、嬉しいことに変わりない。1人でちゃんと生活できているのだろうか？　料理も洗濯もしているのだろうか？　しっかりと食べているのだろうか？
「あんた、彼女は？」
「…何やねん急に」
「いいやないの。教えてくれても。あんたの年やったら彼女おるくらい普通やで？　同級生みんな結婚してんのに」
「みんなって誰やねん」
「ほら、あの福島君も、飯森君も。あの、あれ。誰やったっけ。なぁ、お父さん」
「え？」
急に話を振られた孝は戸惑う。
「そう、あの、水泳部の大きい子。ほら、そう。あ、松藤君。あんた、あの子も結婚したんやで」
「知ってるわ、うるさいなぁ」
「あんた彼女はどうやの？」
「何がやねん」
「だから彼女はできたんか？って」
「おらん！」
「…あんたはもう…しっかりせなあかんで」
「うるさいねん！」
そう言いながらも込み上げる喜びに頬は弛んだ。ミツルが誰かのものになってしまうのは考えられない。あなたは私の可愛い息子。私にはミツルを誰よりも深く愛しているという自負がある。
「あんた、その傷、階段から転んだんやって？」
「おぉん」
「ほんま危ないねんから。あんたお酒もいい加減にしときなさいよ。そんな打ち身で済んだからよかったけど、打ちどころ悪かったらあんた、お釈迦さんやで」
「分かってる」
面倒臭そうに答えるミツル。目は合わせない。
「階段から落ちたんか」
孝が急に会話に入ってきた。孝が会話に参加するときはたいてい何かつまらないことを企んでいる。
「そんなら、蒲田行進曲みたいやなぁ」
「え？　何が？」
ミツルは意味をよく飲み込めていない。
「階段から落ちて、最後、銀ちゃんカッコいいって」
そう言って孝は一人で笑い、その笑いが原因で咳こんで、最後には苦しそうにむせて終わった。
「何それ？」
「知らんか？　つかこうへい。そんなら、あの彼」
「え？」
孝の視線の先には帰り支度を既に整えた圭太君がいた。
「圭太君」
「そう、圭太君か。じゃあ、圭ちゃんカッコいい、と言ってお前も階段から転げ落ちたんやろ」
圭太君は気まずそうな顔で孝とミツルのやりとりを見ていた。
「蒲田行進曲やのうて、近鉄八尾やから…近八尾行進曲やな」
そう言ってまた笑った。今度はうまく力を逃がし、むせることはなかった。
「近八尾行進曲？」
「何やのそれ。お父さん、またつまらんこと言って」
私はいつもの孝のくだらない駄洒落にげんなりした。自分の発言に自分だけ笑っていることを含めて、孝はつまらない男だ。そしてその分だけ人一倍真面目なのだ。
「でもな、圭太君はカッコえぇねん。親父の言うてること、それだけは合ってる。酒の飲み方も、面白い話も全部教えてくれた、俺の先輩やねん」
腫れた顔で急に真面目に話すミツルの言葉は胸にすとんと落ちた。圭太君は首を振りながら謙遜している。気付けば私と孝、同時に圭太君に頭を下げていた。それから圭太君は病室を後にした。
「ほな、そろそろ我々も行きましょうか？」
孝が言った。
「そうやね」
帰り仕度といっても辺りを見回しても何の荷物もない。ミツルの汚れた服は処分してもらった。パイプ椅子から立ち上がりかけたそのとき、ミツルの声が聞こえた。
「ごめんな」
聞き取れるか、聞き取れないか微妙な声だったけれど、確かにそう言った。
私は急に目頭が熱くなって、思わずミツルに背を向けた。ミツルが私に対して面と向かって謝った試しはない。ただ、その一言に私は胸がいっぱいになった。孝は聞こえなかったのだと思う。淡々と私達の持ってきたスウェットをミツルに着せる手伝いをしていた。
「でもあれやで、あんた。もう30やねんからな、子どものことも考えや」
「はぁ？」
「この間テレビでやってたけど、30越えたら精子の働き、弱なるんやで」
「知らんわ！」
それが照れ隠しであることを2人はきっと知らない。

次号（1月15日付）に続く

近八尾行進曲

坂町スケッチ ⑥

The Co Bar（ザ コバー）

中道健さん（左）と後藤浩哉さん

横丁にフルオープンのカウンターバー

上方の人気落語家・桂ざこばさんの名前を付けたThe Co Barという酒場がある。狭い横丁に面したフルオープンのカウンターバーであり、すこぶる換気の良い店だ。

大阪の古い魚市場で、一切の雑魚を扱うことから、雑魚場と呼ばれるようになったと伝えられている。

店主の後藤浩哉さん（64）がThe Co Barをオープンしたのは4年前。以前は焼肉店「焼心」を営んでいた。

取材に訪れた際、隣席の男性客が美味しそうなステーキを食べていたので、後藤さんに聞くと米国産ビーフに塩昆布とワサビを利かせて、美味しく仕上げているとのこと。男性客はおそらく焼心時代からの常連客だろう。最近はやたらにステーキ屋が出来たり潰れたりしているが、ひと味違うステーキは人気があるようだ。

すぐ近場に姉妹店の「Barde坂町」があり、お弟子さんが店を仕切っている。

後藤さんにモットーを聞くと、「がんばる！」。若い人へのメッセージは「悪い奴はいいけど、嫌な奴はアカンと思う」。やんちゃなスピリットが感じられるひとことだ。

ぜひとも後藤さんのステーキを食べに行こう！

（小川秀人）

The Co Bar
店主　後藤浩哉
大阪市中央区千日前1－8－9
TEL　090―1148―5656

書楽読楽帳 ⑳

夢野悠人

だのです。山伏姿に変装をして逃避行を続けますが、斉彬亡き後の薩摩藩は幕府の追及に動揺し、かつての義に厚い誇り高き薩摩ではありません…。西郷と合流し錦江湾へ。

平野が初めて白石正一郎を訪ねたのは安政5年（1858年）12月12日、月照と西郷の入水報告です。宮本雅史著「国難の商人」（産経新聞出版）には平野との出会いが次のように述べられています。

〈その足で月照が残した密書を近衛家に返すため京へ向かうという重い任務を背負っていた。平野が沈痛な表情で正一郎に話す光景が目に浮かぶ。平野自身、幕末体制の現状に危機感を持った。この日から白石邸を拠点として事あるたび正一郎を頼り、尊攘運動を活発化させる〉

正一郎に披露した歌は後世に残る名歌とされていますが、薩摩の変貌ぶりと悲しみ、憤り、虚しさが凝縮されています。

我が胸のもゆる思いにくらぶれば　煙は薄し桜島山（平野次郎國臣）

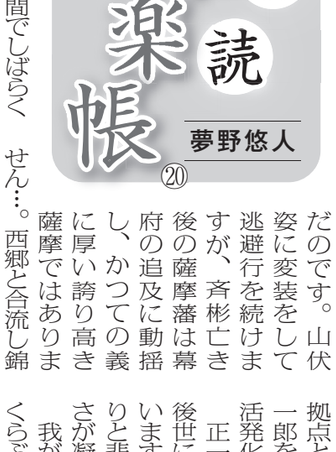
古川薫著「維新の商人」（毎日新聞出版）によると「平野が手荒い行為の陰に見せるそうした詩人の気質を、正一郎は敬愛した」として、福岡藩からは脱藩人として追われます。大胆に出歩くので妓楼にかくまうなど苦労した白石が惚れ込んだのは西郷隆盛、高杉晋作そして平野國臣だといいます。

西郷を蘇生させた「気になる男」は自らの信じる義に生き、義に殉じた異才でした。

西国の尊攘派を結集し「生野の変」で捕らわれ京都六角獄舎で元治元年（1864年）斬首。享年37。

墓は京都霊山護国神社、平野神社（福岡市）。

気になる男　平野次郎國臣



産経新聞出版、定価1,650円（税込み）

親しい仲間でしばらく音信が途絶えたりすると、今ごろ、彼（あの人）はどうしているのだろうかと気になります。読書をしていても同じです。錦江湾で月照と西郷が入水したときにいた月照の忠僕・大槻重助は⑦「忠僕茶屋と月照」で述べました。もう1人、海中の2人を引き揚げ、漁師の家で体を温め西郷を助けたのが「気になる男」福岡藩士・平野次郎國臣です。

下関・白石邸から薩摩に向かう月照らを京奉行の目明しが尾行していたので、尊攘志士・平野國臣に月照らの保護を頼んだのです。山伏姿に変装をして逃避行を続けますが、斉彬亡き後の薩摩藩は幕府の追及に動揺し、かつての義に厚い誇り高き薩摩ではありません…。西郷と合流し錦江湾へ。

平野が初めて白石正一郎を訪ねたのは安政5年（1858年）12月12日、月照と西郷の入水報告です。宮本雅史著「国難の商人」（産経新聞出版）には平野との出会いが次のように述べられています。

〈その足で月照が残した密書を近衛家に返すため京へ向かうという重い任務を背負っていた。平野が沈痛な表情で正一郎に話す光景が目に浮かぶ。平野自身、幕末体制の現状に危機感を持った。この日から白石邸を拠点として事あるたび正一郎を頼り、尊攘運動を活発化させる〉

正一郎に披露した歌は後世に残る名歌とされていますが、薩摩の変貌ぶりと悲しみ、憤り、虚しさが凝縮されています。

我が胸のもゆる思いにくらぶれば　煙は薄し桜島山（平野次郎國臣）

古川薫著「維新の商人」（毎日新聞出版）によると「平野が手荒い行為の陰に見せるそうした詩人の気質を、正一郎は敬愛した」として、福岡藩からは脱藩人として追われます。大胆に出歩くので妓楼にかくまうなど苦労した白石が惚れ込んだのは西郷隆盛、高杉晋作そして平野國臣だといいます。

西郷を蘇生させた「気になる男」は自らの信じる義に生き、義に殉じた異才でした。

西国の尊攘派を結集し「生野の変」で捕らわれ京都六角獄舎で元治元年（1864年）斬首。享年37。

墓は京都霊山護国神社、平野神社（福岡市）。

「ウイルス以外のコロナ」一大コレクション
コロナマニア
岩田宇伯著（パブリブ）

四六判 303 頁並製本
定価 2,200 円（税込み）

今年は新型コロナウイルス関連本がたくさん出版されたが、岩田宇伯著「コロナマニア」（パブリブ）は異色中の異色だ。副題は「ウイルス以外のコロナ」一大コレクション」。もともとコロナというネーミングのものを紹介し3章製品名・ブランド、4章地名、第5章歌はもちろんのこと、コロナビール手・バンド、第6章アルバム・曲、第7章映画・テレビ、第8章中国コロナキャンペーンソング、第9章便乗ソング・バンド。

閉塞した社会では笑いが大切だ。本書を眺めるだけで、笑いがこみ上げてくる。笑いは免疫力を上げると医学的にも証明されている。

本書を読みながら、新型コロナウイルスを笑い飛ばそう。

コミュニティFMラジオ局「ちゃお」79・2MHz
AIアナウンサー番組放送を開始

文章を打ち込むスタッフ

コミュニティFM79・2MHzは、11月からMラジオ局「ちゃお」人工知能を導入したAIアナウンサーによる番組放送を開始している。

大阪府下のコミュニティFM放送局では初めての災害発生時運用を見越した本格導入となり、八尾市提供番組のほか、ニュースや天気などの情報をAIアナウンサーの声で流している。

ちゃおでは、新型コロナウイルス感染症拡大により、アナウンサーやタレントの来局やスタジオへの入場を制限するなかで、緊急事態宣言発令中は通常番組を取りやめ、特別番組編成で、新型コロナウイルス関連情報を放送していたが、今後もコロナ禍が続くことが想定され、ラジオ番組の制作スタイルが変化していくことに対応するため、エフエム和歌山で開発されたAIアナウンサー「ナナコ」の導入を決めた。

今回導入するAIシステムは「アマゾンウェブサービス（AWS）」を使うもので、英語、韓国語、中国語などへ翻訳する文章を打ち込むと音声に変換して放送でき、機能もあり、災害発生時の避難情報などを多言語で即時に放送可能だ。

必要な情報を繰り返し放送できることから、特に災害発生時には大きな威力を発揮する。

さらに、日本語だけでなく、英語、韓国語、中国語などへ翻訳する機能もあり、災害発生時の避難情報などを多言語で即時に放送可能だ。

クリスマスに愛を贈ろう

フィリピン・アルザビ村でのリーダーシップ研修

一般社団法人日本国際飢餓対策機構（八尾市弓削町3―74―1）は毎年12月に「クリスマスに愛を贈ろう」を行い、世界で困っている人のサポートをしている。

今年の募金はパキスタン、フィリピン、インドネシアで住民主体による地域開発や子どもたちへの教育・保健衛生、栄養のある食べ物の提供、妊産婦と乳幼児のケア、職業訓練などに用いられる。募金目標は800万円。

郵便振替（00170―9―68590）またはWEBサイト「ハンガーゼロ」で募金を受け付けている。

問い合わせは同機構（☎072―920―2225）へ。

小説
幽鬼の恋人

中森 臨時（北河内在住の小説家）

何やら家が騒がしいと気がついたのは、式が始まる1時間前のことだった。家人に呼びかけても聞こえないふりをされた。私は、小さい頃から子分のように扱っている従兄弟を見つけたので、襟を掴んで裏の部屋に連れて行った。従兄弟は言いにくそうにしていたが、少し凄むと、「ちょっと目を離した隙に、晴子さんがいなくなったそうです」と、花嫁の失踪を白状した。

先ほど女中に様子を見に行かせた時には、化粧も終え、白無垢の花嫁衣装をまとって、ちょこんと椅子に腰掛けていたと報告してきた。晴子は「こんなに苦しいとは思いませんでしたわ。だって初めてですもの」と冗談を口にしていたそうだ。

あんな目立つ格好で、誰にも見つからずに立ち去るのは無理だろう。

とりあえず私も一緒に探そうとすると従兄弟に止められた。「花婿が出張ると、周りの者を余計に心配させます。家にいてください」そう言われてなぜか安心した。

手持ちぶさたになって部屋で新聞を読んでいると、ふすまを少し開けて、誰かがこちらを見ていた。「こっちに来なさい」入ってきたのは、女中の末の娘だった。

娘は「向こうのお家で、お嫁さんが話していた男の人はどなたですか」と尋ねてきた。「お前は晴子のところにいたのかい」と返すと、娘は少しうつむいた。

「早く綺麗なお嫁さんを見たくなって、さっきみたいに、ふすまの間から覗いていました。見たことのない人でした」

遠縁の親戚だろうと思っていると、娘は「こちらの頬に大きなほくろがありました」と話した。私は思い当たる節があったので、いろいろと特徴を尋ねた。その結果、何から何まで幼馴染の圭吾そっくりだった。

圭吾は死んだのだ。5年も前に、私の手で。

「お嫁さん、その男の人とすごく楽しそうに話してたんだけど…」娘は言い淀んだ。「男の人の身体が、姿見に映っていなかったの。それで私は怖くなって、戻ってきました」

※

いつの間にか日が暮れていた。漁船の底引き網に角隠しがかかっていたと組合から連絡があり、家は大騒ぎになっていた。

私は、楽しそうに話している晴子の姿を思い出そうとしていたが、だめだった。

そんな記憶はないのだから当然だった。

記憶は一代、記録は末代
自分史・社史出版のお手伝い
地元八尾の出版社
だからこそできる
きめ細かな本作り
永続する会社には社史がある
著者と編集者が二人三脚で本作り
株式会社 ドニエプル出版
TEL.072-926-5134
〒581-0013 八尾市山本町南6-2-29　FAX.072-921-6893
ドニエプル出版　検索

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市山本町南６－２－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893

ニッポン・フェスティバル アリオ八尾で開催

日本の魅力を再発見 笑顔つながる

とみさん工房が演出

子どもに景品を渡す富岡祐生代表

「日本の魅力を再発見。笑顔つながる」をテーマに、ニッポン・フェスティバルが11月21日～22日にアリオ八尾（八尾市光町2）で開かれた。日本舞踊、落語、大正琴を生で体感。万華鏡作りのワークショップもあった。

特別企画として、「おもろい縁日」が1階の光町スクエアであり、親子連れで賑わった。縁日を演出したのは、とみさん工房（富岡祐生代表）。和をテーマにして、たこ焼きスマートボール、野菜輪投げ、食材パターゴルフなどユニークなものばかりを用意。大人も子ども楽しんでいた。

とみさん工房のモットーは「人に喜んでもらえること」「人を喜ばせること」。スタッフ全員にこのモットーが行き渡っており、どのスタッフも満面の笑顔で子どもたちに接していた。

23日は3階のカワチラボに会場を移して縁日が開かれた。

商品量目試買調査

八尾市立くらし学習館で

商品量目試買調査が11月27日に八尾市立くらし学習館（八尾市本町3）で行われた。目的は、消費物資の量目についての実態を調査し、消費者が計量について不利益を被ることのないよう、計量に対する関心を広めること。昭和29年から始まり、毎年行われている。

この日は八尾市消費問題研究会の会員が購入してきた量目表示商品や量目販売されている商品を1つ1つ袋から出し、秤にかけ確認した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、短時間で切り上げられた。

肉などを袋から出し計量する会員

おもろい縁日

特別企画として、「おもろい縁日」が1階の光町スクエアであり、親子連れで賑わった。縁日を演出したのは、とみさん工房（富岡祐生代表）。和をテーマにして、たこ焼きスマートボール、野菜輪投げ、食材パターゴルフなどユニークなものばかりを用意。大人も子ども楽しんでいた。

とみさん工房のモットーは「人に喜んでもらえること」「人を喜ばせること」。スタッフ全員にこのモットーが行き渡っており、どのスタッフも満面の笑顔で子どもたちに接していた。

23日は3階のカワチラボに会場を移して縁日が開かれた。

荘子と語る 六

大阪府立大学名誉教授 **大形 徹**

有翼日輪／櫻井清彦編著「ナイルの王墓と神殿」（講談社）

日神／「中国美術全集」（京都書院）

北の果ての暗い海に魚がいる。その名を鯤という。鯤の大きさは何千里あるか見当もつかない。

この鳥が怒って飛び上がると、その翼はあたかも天に垂れこめる雲のようである。

鵬の背は何千里あるか見当もつかない。

この鳥は海が荒波にわきかえるとき、南のはての暗い海へと飛んでいこうとする。

南の果ての暗い海とは天池のことである。

斉諧とは、奇怪なことを知る人物である。諧の言葉にこうある。鵬が南の果ての暗い海に飛んでいくとき、水面に羽をうちつけること3千里、扶揺（扶桑）の樹木より羽ばたいて、9万里のかなたまで上り、飛ぶこと6カ月間やっと休息するのである。（後略）

※「荘子」は、この巨大な魚の鯤が巨大な鳥の鵬に変化して、空高く飛び上がり、飛んでいくという、雄大な話から始まる。

これに魅せられた文学者も数多く、唐、李白は大鵬賦を書いている。このあと地上の景色がえがかれ、そこから蒼天を見上げる。そして、その青々とした色は、果てしなく遠くて透明な色が重なり合ったもので、天空の高みにのぼり、地上を見ればやはり同じように青々と見えるだろう、と述べられる。そのあと、蜩と小鳩が登場し、鵬をあざ笑う「小知は大知におよばない」話となり、それは、小年は大年におよばない」話で結ばれる。

この話は渾沌とつながる。渾沌は太陽神であったが、鯤も太陽で海から生まれ、羽が生えて鵬となり空高く上る。エジプトには有翼日輪があり中国の日神に似る。

近鉄文化サロン上本町で「荘子を読む」開講中

富士電子工業株式会社

大規模災害時の避難施設に 本社会議室を提供

大松桂右市長（左）と渡邊弘子社長

大規模災害時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定締結式

急激な気候変動などで近年多発している大規模風水害への対策が全国で進むなか、八尾市においても大規模災害発生時の緊急一時避難施設の拡大が急がれる。

長年地域のモノづくりを牽引する富士電子工業株式会社（渡邊弘子社長）に八尾市（大松桂右市長）が緊急一時避難場所の提供を申し入れたところ、同社が快諾。

11月18日に同社と八尾市が防災協定を締結した。

災害時に緊急一時避難場所として提供されるのは同社大会議室と中会議室でそれぞれ130～140人、50～60人の着席スペースを有する。

倫理を学ぶ女性たち 3

天は自ら助くる者を助く

大阪市倫理法人会幹事 **木下とよ子**さん

「天は自ら助くる者を助く」という自助論を地で生きている女性がいる。大阪市倫理法人会幹事の木下とよ子さん（61）＝写真＝だ。

東大阪の瓢箪山に生まれ、大阪府立布施高等学校を卒業。卒業後は生命保険会社に入社し、プログラマー課へ配属される。ここまでは普通の女の子だが、とができ、会社への支払いを済ませる。木下さんはそこから昼夜問わず死に物狂いで働いた。そして、8年かけて銀行へ完済。心身ともにボロボロになっていた。

このままでは終わらない木下さん。ここから快進撃が始まる。45歳でパラマンダ（サンスクリット語で「幸せを人に与える」）を立ち上げ、健康体操の教室を始める。さらにカリスマ整体師に師事し、整体師となる。師匠の推薦により上海中医薬大学へ8年間で10回短期留学し、推拿（ツイナ）整体師という国家資格を取得する。

快進撃は続く。パティル・シーマさんというアーユルベーダの大家との運命的な出会いがあり、インドへ。そして、アーユルベーダのマスターとなる。

倫理法人会との出合いは2014年だ。喫茶店で寛いでいるとき、隣の人が倒れた。救急措置を施し、一命を取り留める。その人に「どうしても会ってもらいたい人がいます」と言って連れていかれたのが、西中務弁護士（故人）の事務所だ。西中弁護士に誘われ、倫理法人会の経営者モーニングセミナーに参加する。自分の中に何かがストンと落ちた。今必要なものはここにあると感じる。その日から毎日モーニングセミナーに通う。学べば学ぶほど心が躍り、自分がイメージする通りの人生が拓けていく。

来年からは純粋倫理をベースにして「健康経営」をテーマに活動していくという。快進撃は止まることなく続くことだろう。

推薦図書を募集中！　東大阪新聞メールへ contact@higashiosaka-n.com

宇宙空間を旅しながら読むのに適した本を紹介しています。宇宙旅行は夢物語ではなく、現実のものとなっています。いつかあなたも宇宙へ。1冊の本をお供にして。

宇宙旅行に持っていきたい1冊 10

イェルク・ツィンク著 眞壁伍郎訳「わたしはよろこんで歳をとりたい」

こぐま社、A５判54頁上製本
定価 1,320 円（税込み）

72歳を超えての夢の宇宙旅行を、ぜひ想像していただきたい。

そこにお供するのは、「わたしはよろこんで歳をとりたい」という1冊の絵本である。

「おい、悔いはないか？」と問いかける友に、窓外の青い地球を見ながら、「ない！」と断言できない自分があった。

人生100年時代と言われるようになって、「老い」という人生の4番目の季節を宇宙に向かって生きていくなかで、この絵本は、老いの〝あるがまま〟の愛おしさと、賢者たちの深い人生経験を紡ぎながら、「人生の秋」と「新しいのち」への繋がりを伝えている。

著者は、クリスチャンのドイツ人牧師で、自らの老いの心境を吐露しながら、〝わたし〟の離独立宣言をした沿ドニエストルをモルドバに戻すつもりだ。国際的にはモルドバの一部とみなされているが、実際は深い溝がある。その溝を埋めてひとつの国にするために躍起になるだろう。

「ロシアは指をくわえて黙っているかな」と